

第6学年 国語科学習指導案

日 時：平成28年6月28日（火）第5校時

場 所：四万十市立具同小学校 6年2組教室

児童数：6年2組 32名

授業者：四万十市立具同小学校 吉岡 身佳

1. 単元名 投書デビューしよう

教材名 「新聞の投書を読み比べよう」（東京書籍6年）

2. 単元について

本単元で扱う内容は、学習指導要領には以下のように位置付けられている。

第5学年及び第6学年「C 読むこと」

イ 目的に応じて、文や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。

(1) 単元観

本教材は、「スポーツをすることの目的（意味）」について書かれた一つの投書につなげて寄せられた三つの投書を紹介したものである。スポーツをしている児童も多いことから、テーマについては児童が興味を持って読むことができるものであろう。また、四つの投書が同じ構成で書かれているため文章構成がとらえやすい。「経験を述べる」「具体的な数値を入れる」などの説得力を持たせるための工夫が具体的に示されているので、自分で投書を書く際にも活用することができ、「新聞の投書」を読んだり書いたりすることに適した教材である。さらに、人の意見や主張に対して、どう支持したり反論したりするのか、その考え方を分析し評価することもできる教材である。

児童はこれまで、事実と意見との関係に注意しながら読むことを学習している。しかし、同種の複数の文章を比べて読んだり、そこから述べ方の工夫について読み取ったりすることは十分ではない。そこで本単元では、新聞の投書から説得の工夫を読み取ることをねらいとした。そして、新聞の投書を読み比べて学んだ説得の工夫などを使って、自分の意見を投書として書く言語活動を設定した。児童が、それぞれの投書について書き手の主張をとらえるとともに、構成や説得の工夫を見つけ、「投書の書き方のポイント」をまとめる。それらのポイントを使って実際に自らの文章を書くことで、意欲的に学習に取り組むことができるだろう。

(2) 児童観

児童は、5年「新聞記事を読み比べよう」で書き手の意図を読み取る学習を行っている。6年「イースター島にはなぜ森林がないのか」では、事実と意見の関係に注意しながら文章を読み、筆者の主張に対する自分の考えを書く学習を経験している。本学級の児童は、国語科の学習アンケートにおける「学習がよく分かりますか」という質問に対して90%の児童が肯定的評価をしている。しかしながら、記述欄では「文章を書くことが苦手」と記述した児童が15%存在していた。日々の

学習の様子からも書くことや自分の意見を発表することに苦手意識を持ち、消極的な姿が見受けられる。また、教材として取り扱う「新聞」や「新聞の投書」への関心は低く、実際に投書を読んだことのある児童は31%、投書や子ども新聞に投稿したことがある児童は皆無であった。このような実態から、投書を書く活動までに、並行読書として新聞記事を読むこと、投書の構成や説得の工夫（理由づけの仕方や根拠の挙げ方）を読み取る活動にしっかり取り組ませることが重要であると考えられる。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、四つの投書の書き方や説得の工夫を読み比べ、投書を書くという目標を設定し、単元全体を通して児童が目的意識を持って学習に取り組めるようにしたい。まず、投書の構成や書き手の主張を読み比べる際には、段落や内容のまとまりによって色分けをして投書の構成の特徴や主張の共通点や相違点に気づかせるようにしたい。そして、書き手の説得の工夫を読み取る際には、理由づけの仕方や事実と根拠の挙げ方をどのように工夫しているのかをマトリックス表に表すことで、投書の書き方のポイントをまとめる。これらの活動を通して、自身で投書を書く際に活用できるようにさせたい。投書を書く活動では、テーマを何にするか迷う児童がいることが想定されるため、一次の学習段階から見通しを持って学習が進められるように新聞記事を読ませ、「自分の好きなことを書く」「誰かの意見に対して書く」などのテーマ設定の方法があることを知らせていきたい。

本時では、自分が納得する投書の一つを選び、その理由を説明する。友だちと意見交流をすることを通して、自分が選んだ投書の良さを様々な観点から再確認したり、考えを深めさせたりさせたい。また、違う投書を選んだ理由を聞くことにより、他の投書の良さを知り、考えを広げられるようにさせたい。前時までに習得した読みの視点をもとに、自分の投書を書く際に活用できる説得の工夫を、友だちとの意見交流からさらに深め、追究していくことを意図している。

3. 研究主題に関わって

本校の研究主題は「自ら課題をつかみ 思考し 表現し合う授業づくり ～習得・活用・探究のつながり 指導過程・指導方法と発問を大切に～」である。本単元では、習得・活用・探究のつながりにポイントをおいて単元を構成した。投書を自分で書くことをゴールに設定し、そのために投書の構成や書き方の工夫について習得していく。そして、自身の投書を書く際には習得したことを活用して自分の考えを表現できるようにさせたい。また、投書のテーマを教師側が設定するのではなく、自ら課題を見つけさせ、それぞれの視点から投書を書くようにさせたい。自分の書いた投書を推敲することや友だちの選んだテーマを知ること、投書を読み合うことを通して、さらに考えを広げたり深めたりすることが探究的な学習につながるものと考えられる。また、単元を通して、一人一人が自分の考えを持って思考することや友だちと表現し合うことを大切にしたい指導過程・発問を仕組み、児童の主体的・協働的な学習が展開されるようにしていきたい。

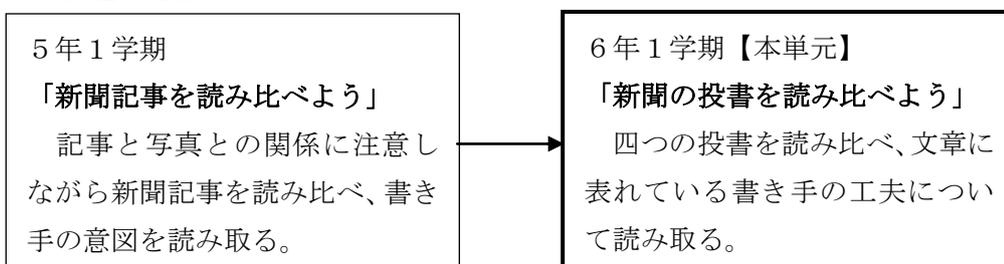
4. 単元の目標

○四つの投書を読み比べ、文章に表れている書き手の工夫について読み取り、自分の考えを書くことができる。

5. 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・投書の特徴をとらえ、進んで書き手の主張や説得の工夫を読み取ろうとしている。
読む能力	・投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方に気をつけて読み比べ、それぞれの書き手の説得の工夫をとらえている。C（1）イ ・書き手がどのような事例を挙げて説得しようとしているのかを読み取り、自分の考えを明確にしている。C（1）ウ ・四つの投書を読み比べて考えたことを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。C（1）オ
言語についての 知識・理解・技能	・投書の文章の構成を目的とともに理解している。伝国（1）イ（キ）

6. 関連と発展



7. 単元の計画（全8時間）

学習活動

児童の意識の流れ

単元の主な評価規準

1次 「新聞の投書」について知り、学習の流れをつかもう。

1時間

- ①新聞の投書の書き方を知り、見つけた書き方の工夫を使って投書を書くという学習の計画を立てる。

投書にはいろいろな書き方があるんだな。

自分でも投書が書けるかな。

- ・新聞の投書について関心を持ち、説得の工夫を読み取り投書を書くことに意欲を持って取り組もうとしている。

【関心・意欲・態度】

新聞記事を読む

2次 書き手の主張や書き方の工夫を見つけよう。

3時間

- ②③それぞれの投書について構成や書き手の主張を読み取る。四人の書き手が、読み手を説得するために、理由づけの仕方や事実と根拠の挙げ方をどのように工夫しているか見つけ、「投書の書き方のポイント」をマトリックス表にまとめる。

同じテーマなのに投書によって、主張や意見、説得の工夫の違いがあるな。

どの投書が、説得力があるかな。

自分の納得した投書は〇〇だけど、みんなはどれをどんな理由で選んだのかな。

- ・それぞれの書き手の意見や主張、その理由や根拠をとらえている。 【C(1)イ】

- ・構成や理由づけの仕方、根拠の挙げ方に気をつけて読み比べ、それぞれの書き手の説得の工夫をとらえている。 【C(1)ウ】

- ・四つの投書を読み比べて考えたことを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【C(1)オ】

- ・投書の文章の構成を目的とともに理解している。

【伝国(1)イ(キ)】

- ④四つの投書の中から自分が納得するものを選んで理由をまとめ、友だちと伝え合う。 【本時4/8】

3次 投書を書こう。

4時間

- ⑤⑥投書に書く内容と構成を考える。

- ⑦考えた構成をもとに、六百字程度で投書を書く。

- ⑧書いた投書を友だちと読み合い、感想を伝え合う。

四つの投書を参考にしたら自分でも投書が書けそうだ！

- ・読み取ったことを活用し、意欲的に投書を書こうとしている。 【関心・意欲・態度】

- ・読み手に自分の考えが伝わるように、構成を工夫し、理由を明確にして投書を書いている。 【C(1)オ】

- ・自分の意見や主張を述べる際の説得の工夫にはどのようなものがあるか理解している。 【C(1)ウ】

【付きたい力】

- ・書き手による説得の工夫について読み取る力。

8. 本時の指導 (4/8)

- (1) 目標 ○自分が納得できる投書を一つ選び、納得した理由を明確に説明することができる。
- (2) 準備物 投書 (掲示用)
- (3) 展開

	学習活動【主な発問 (★)】	指導上の留意点 (○) と評価
つかむ 5分	<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分が納得する投書を一つ選んで、理由を説明しよう。</p> </div>	○投書①～④の主張を確認する。
考え ・ 深め ・ 広げ る 35分	<p>3 投書を一つ選び、なぜ納得したのか理由を明確にして書く。</p> <p>★自分が納得した投書を選んで、どうして納得したのか理由を書こう。 (個人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは①の投書、同じような経験をしたことがあるから納得できる。 ・私は③の投書、具体的な数値があるから説得力があると思う。 <p>4 友だちと意見を交流する。</p> <p>★自分の意見を伝え、友だちの意見も聞こう。友だちはどんな意見かな。 (グループ) (全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ投書を選んでいるのに理由が違うな。 ・友だちが選んだ投書も選んだ理由も納得できるな。 	<p>○納得する理由を考えたときのポイントを示す。</p> <p>○どの投書を選んだのか全体で確認する。</p> <p>○グループで話し合い、多くの観点から比較させたい。</p> <p>○友だちの意見がわかるように、マトリックス表を見て確認させたい。</p> <p>○児童が選んだ理由を書き手の説得の工夫ごとに整理していく。</p>
まとめ ・ つなげる 5分	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>それぞれの投書に読み手を納得させるような書き手の説得の工夫がある。</p> <p>自分だったら・・・</p> </div> <p>6 次時の活動を確認する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>読 四つの投書を読み比べて考えたことを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>(発言・ノート)【C(1)オ】</p> </div>

